

はじめに

本書は、Windows 7 の Windows ファイアウォール設定の操作について説明しています。
ご使用前にこの操作説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、Windows ファイアウォールの設定に関しては、お客様の責任で行ってください。

■ ご注意

- ・ 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが、当社支社・支店・営業所までご連絡ください。
- ・ 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

■ 商標

- ・ 本書で使用する当社製品名またはブランド名は、当社の商標または登録商標です。
- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows XP、お よ び Windows Vista は、米 国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe、Acrobat、および Postscript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- ・ 本書では各社の登録商標または商標には、™ マーク、® マークは表示していません。
- ・ 本書で使用する各社製品名は、各社の商標、または登録商標です。

■ 本書の説明範囲

- ・ 本書では、Windows 7(OS) の基本的な操作については説明していません。OS の基本的な操作については、それぞれのユーザーズガイドなどをお読みください。

Windows 7 ファイアウォール設定

操作説明

(レコーダ関連ソフトウェアを正しく動作させるために)

TI 04L00L00-01JA

目 次

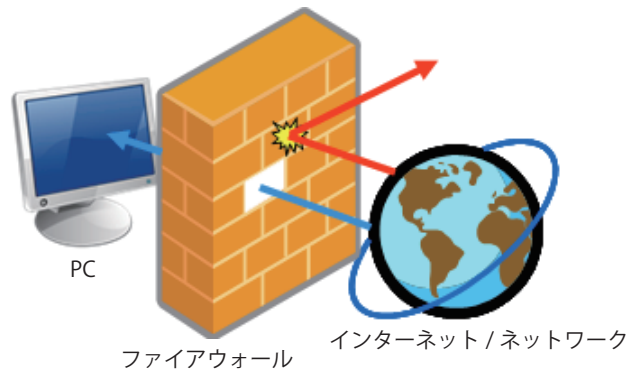
はじめに.....	i
1. Windows ファイアウォールの影響	1-1
2. Windows ファイアウォールの設定	2-1
2.1 Windows ファイアウォールの選択	2-1
2.2 Windows ファイアウォールの状態確認	2-2
2.3 Windows ファイアウォールのプログラムの許可	2-3
付録 プログラムの許可の対象プログラム	付 -1
改訂情報.....	i

1. Windowsファイアウォールの影響

Windowsファイアウォールは、インターネットやネットワークから送られてくる情報（通信）をチェックし、コンピュータへの情報の通過をブロック、または許可するソフトウェアです。

DAQWORX、およびレコーダ関連ソフトウェアには通信を行っているプログラムがあり、Windowsファイアウォールが原因で動作しない場合があります。

Windowsファイアウォールが原因でプログラムが動作しない場合、Windowsファイアウォールを無効にするか、本書を参照していただき、Windowsファイアウォールのプログラムの許可の設定を行ってください。



● Windowsファイアウォール設定の前の確認

DAQWORX、およびレコーダ関連ソフトウェアが動作しない場合、Windowsファイアウォールの影響だけとは限りません。Windowsファイアウォール設定の操作を行う前に以下の確認をしてください。

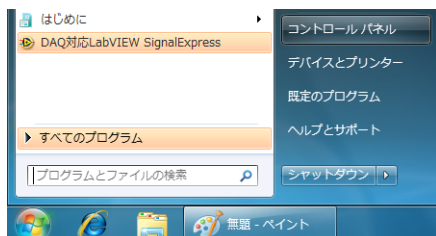
- ping を使ってインターネットの接続状況を確認します。ping が通らない場合はケーブル、HUB やIP アドレス設定などの問題が考えられます。
- ソフトウェアの操作方法が正しいか確認します。

上記の確認をしても解決できない場合、Windowsファイアウォールの問題の可能性が高くなります。

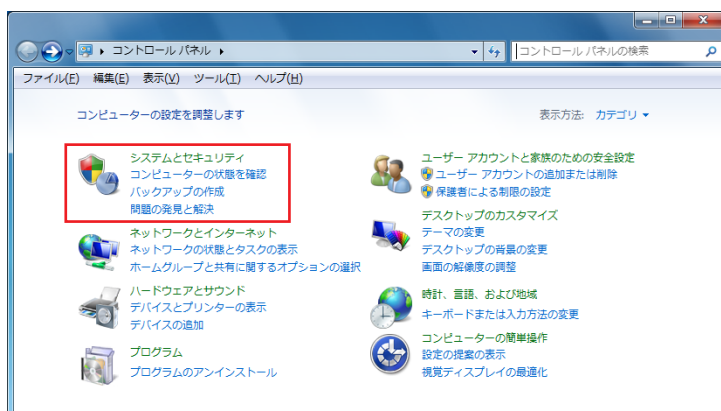
2. Windowsファイアウォールの設定

2.1 Windowsファイアウォールの選択

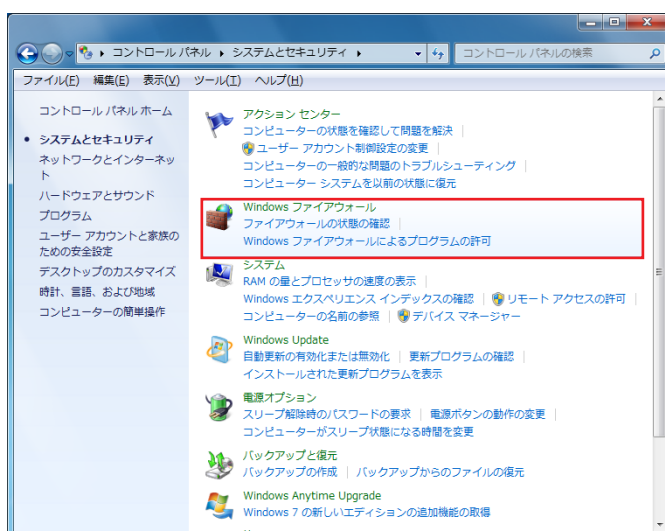
1. スタートメニューから[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルが表示されます。



2. [システムとセキュリティ]をクリックします。
クラシック表示になっている場合は、次の操作へ進んでください。

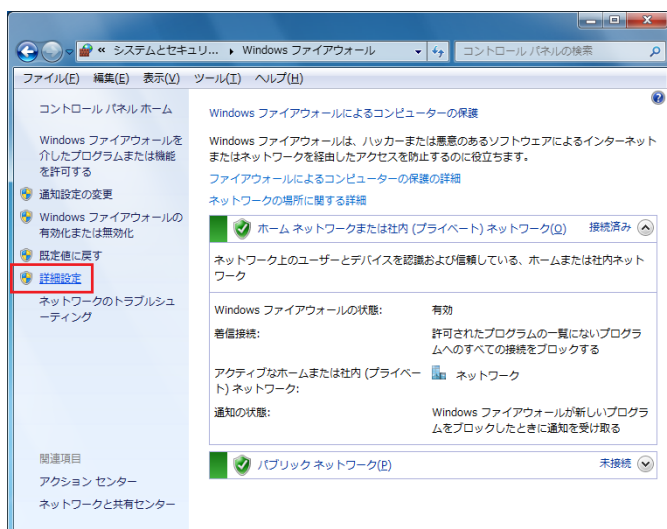


3. [Windowsファイアウォール]をクリックします。
[Windowsファイアウォールの設定]のダイアログが表示されます。

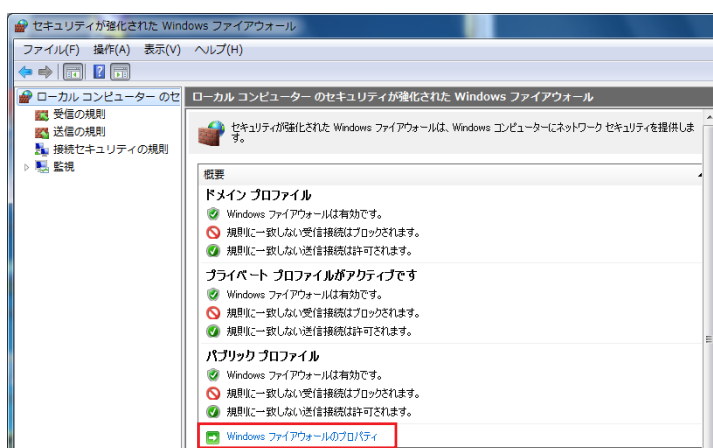


2.2 Windowsファイアウォールの状態確認

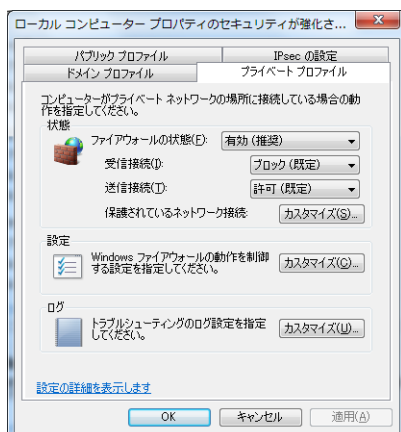
1. [詳細設定]をクリックします。



2. [Windows ファイアウォールのプロパティ]をクリックします。



3. ご使用の環境に合ったプロファイルのタブをクリックします。
[ファイアウォールの状態]が[無効]になっている場合は、[キャンセル] をクリックして終了します。
[ファイアウォールの状態]が[有効]で、[受信接続]、[送信接続]が[ブロック]になっている場合は、**2.3 Windowsファイアウォールのプログラムの許可の設定**を行ってください。

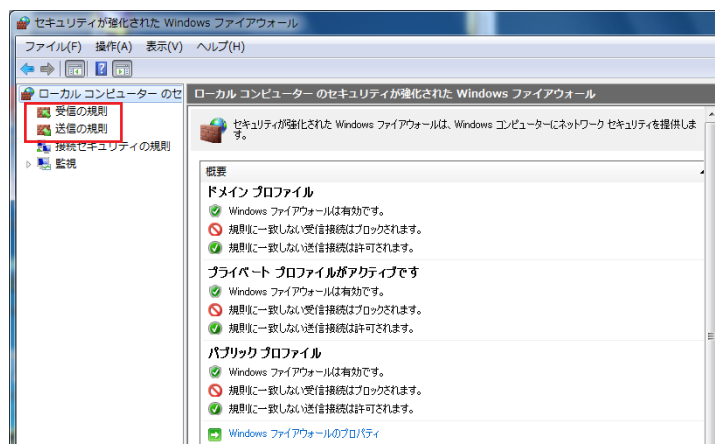


2.3 Windowsファイアウォールのプログラムの許可

● 受信規則の設定/送信規則の設定

受信規則の設定を例に説明しています。送信規則についても同様の操作になります。

1. [受信の規則] (または [送信の規則]) をクリックします。



2. [規則の種類]のステップで[プログラム]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。



3. [プログラム]のステップで[このプログラムのパス]にチェックを入れ、ソフトウェアのインストール先のフォルダから許可をするプログラムを設定して、[次へ]をクリックします。



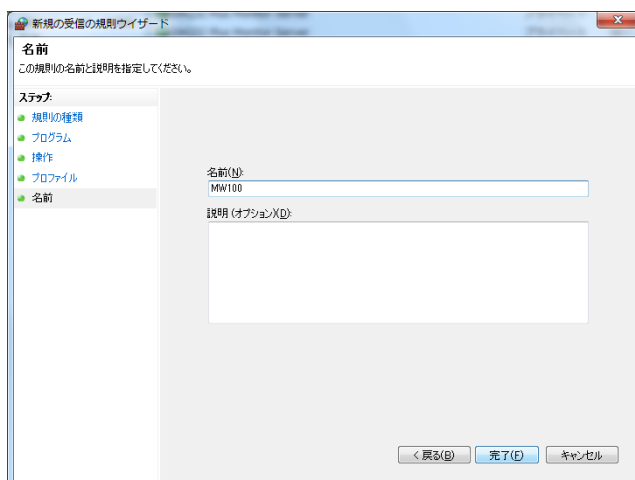
4. [操作]のステップで[接続を許可する]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。



5. [プロファイル]のステップで規則を適用するプロファイルにチェックを入れ、[次へ]をクリックします。



6. [名前]のステップで規則の名前を入力し、[完了]をクリックします。



7. 同様の操作で、各プログラムの許可の設定を行ってください。

付録 プログラムの許可の対象プログラム

Windows ファイアウォールの影響が考えられるプログラムは下記になります。
 お使いの PC 環境で、すべてのプログラムが Windows ファイアウォールの影響があるとは限りません。Windows ファイアウォールの設定前の確認（1 章 ファイアウォールの影響を参照）を行っても問題が解決せず、Windows ファイアウォールの影響でプログラムが動作しないと思われる場合、下記を参考にいただき、プログラムの許可の設定を行ってください。

製品名	形名	対象プログラム
MX100 スタンダードソフトウェア	MX180-01	MXStandardJ.exe MxEngine.exe MXCalibJ.exe
MW100 ビューアソフトウェア	MW180-01	MwIPSetJ.exe MWCalibJ.exe
DAQ32 データアキュイジションソフトウェア	DP120-11	DWDigitalJ.exe DWEEnvJ.exe DWMMainJ.exe DWMonitorJ.exe DWSettingJ.exe DWWave.exe
DAQSTANDARD	DXA120	DXConfigureJ.exe DXPCConfigJ.exe DxViewerJ.exe
DAQStudio	DXA170	DAQStudioJ.exe
DAQManager	DXA250	無し
DAQLOGGER	WX101	MLDdeSvrJ.exe MLEnvironmentJ.exe MLFtpJ.exe MLLoggerJ.exe MLManagerJ.exe MLMonitorJ.exe MLMonitorSvrJ.exe MLRemoConSvrJ.exe MLSettingJ.exe MLSmtPJ.exe MLTagSettingJ.exe
DAQLOGGER Client	WX81	MLRemoteControllerJ.exe RMClientJ.exe
DAQ32Plus	WX102	DWDdeJ.exe DWEEnvJ.exe DWMMainJ.exe DWMonitorJ.exe DWServerJ.exe DWSettingJ.exe DWTagJ.exe RMClientJ.exe
DAQ32Plus Client	WX82	RMClientJ.exe

製品名	形名	対象プログラム
MXLOGGER	WX103	MXCalibJ.exe MXDdeJ.exe MxEngine.exe MXExtendJ.exe MXFtp.exe MXServerJ.exe MXSmtJ.exe
DAQEXPLORER	WX104	DAQCommunicationJ.exe DXADVConfigJ.exe DXConfigJ.exe DXDeskTopJ.exe DXServerJ.exe RMClientJ.exe
AddMulti	WX12	DMLauncherJ.exe DMLoggerJ.exe DMMonitorJ.exe DMMonitorSrvrJ.exe DMOverviewJ.exe
AddTrigger	WX13	TRLauncherJ.exe TRLoggerJ.exe TRMonitorJ.exe TRMonitorSrvrJ.exe
AddObserver	WX11	DAQBuilderJ.exe RMPanelJ.exe
AddObserver Runtime	WX83	RMPanelJ.exe
GateCONTROL	WX1	GateCONTROLJ.exe
GateMODBUS	WX1	GateModbusConfigJ.exe GateModbusJ.exe
GateDXP	WX1	GateDXPConfigJ.exe GateDXPJ.exe
GateuR	WX1	GateMRJ.exe
GateOPC	WX1	GateOPCConfigJ.exe GateOPCInfoJ.exe GateOpcJ.exe
GateWT	WX1	GateWTConfigJ.exe GateWTJ.exe
GateEye	WX1	GATEEYEJ.exe
GateMXMW	WX1	GateMX100J.exe
DataBrowser	WX1	DBClientJ.exe DBServerJ.exe
RXA10 設定ソフトウェア	RXA10	CopyToolJ.exe uRConfigurationJ.exe

改訂情報

資料名称 : Windows 7 ファイアウォール設定 操作説明書
(レコーダ関連ソフトウェアを正しく動作させるために)

資料番号 : TI 04L00L00-01JA

2010年9月／初版
新規発行

■ 著作者 横河電機株式会社
■ 発行者 横河電機株式会社
〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32
